

広島県コンクリート診断士会 竹田新会長が「予防保全」語る 第59回定例会

広島県コンクリート診断士会(竹田宣典会長)による第59回定例会が27日、広島市中区で開催され、6月に新会長に選出された竹田会長(広島工業大学)が特別講演の講師を担当。実会場とオンラインで参加した約40人



ンクに決めた。落札金額は4061万7000円(税抜、以下同)。今月21日

3万円に設定されていた。予定価格は451

間は2025年3月21日まで。

を予定している。履行期間は2025年1月17日まで。

の会員らが「コンクリート構造物の予防保全」の話に耳を傾けた。同会では会長交代後、1回目の定例会では新会長が講師に立つことが恒

例となっており、竹田会長は簡単な自己紹介ののち、「かなり活発な活動をしている会なので忙しくなると思うが、会員の皆様のレベルアップや情

報交換、仕事にもつながる活動ができるよう頑張りたい」と述べた。特別講演では、予防保全をテーマにその定義や効果に関する調査結果などを取り上げ、最新の補修技術についても紹介。「適切な点検・補修を行えば、コンクリート構造物を長生きさせることが可能になる」と強調した。

このほか、賛助会員による技術紹介の時間も設けられ、建設化学品メーカーであるボゾリスソリユーションズ土木事業部の福家厚仁氏が「SIKA・ボゾリスの補修工法の紹介」と題し、断面修復工、ひび割れ補修工、表面被覆・剥落防止工などで活用できる各製品について詳しく説明した。

益田市は27
価(特別簡易
簡易型一般

申請書9月20日まで

徳山総合建設株式会社

山口県教
営・施設整備
一般競争入札
で「徳山総合
設校舎リノ
告した。資格
は9月20日
営・施設整備